

森林 荒 廃 問 題 の 真 実

依田林業新聞

「発展途上国では森林破壊が進み、日本では森林荒廃が進んでる」

今、日本の森林に危機が訪れていると言っても過言ではない。

元々有数の森林大国であった。1945 年～80 年代にかけて、戦後復興のため、スギ、ヒノキといったエネルギー資源として万能な木が大量に植林された。だが、時代は流れ、石油や石炭、トウモロコシなど新たなエネルギーが産業に使用されるようになり、次第に森林＝お金を産み出すという図式は崩壊する。

そして、大きな問題になっているのが、人工林の“増え過ぎ”で、大半が管理されていない。花粉症が多くなっている原因の 1 つでもある。

この状況を変えるには、杉の木を有効活用させ、その絶対数を管理することである。

樹木の伐採というと、一般的にマイナスな印象を持たれることが多い。

樹木の密集を適度に緩和するのは、環境や人々の生活を守るために必要である。

しっかりと管理すれば、森や生態系が生き続け、災害多発も防ぐことができる。

杉はストレスを緩和する効果があり、住宅の木材として適している。

意識的に有効活用すること、人工林の杉の数を減らしていくこと、林業を生産とする人々の数を増やすこと。これこそが、1 番の課題である。

発行所

(有) 依田林業
塩山事務所
総務部

春の全国火災予防運動

平成 30 年「春の全国火災予防運動（週間）」は、3 月 1 日（木）～7 日（水）です。

全国統一標語は、『火の用心 ことばを形に 習慣に』です。

全国の火災発生件数は年間約 3 万 6 千件です。3 月は建物火災が最も多く発生しています。

春は空気が乾燥し風が強い日も多くなります。

火災発生状況と原因

種別 ①建物火災 ②車両火災 ③山林野火災

原因 ①.放火 ②たばこ ③コンロ ④たき火

私達林業でも、気を付けなければいけません。3 位にも林野火災がランクインされているので、たばこ、たき火には十分注意を払う必要があります。携帯用灰皿の持参、指定場所での喫煙、許可されている範囲でのたき火、直ぐに消火できる準備。これらを守って行動しましょう！

難のない人生は「無難」
難のある人生は「有り難い」

今月の一言

「ひな祭り」といえば、雛人形を飾り、ちらし寿司やハマグリのお吸物を食べて女の子の健やかな成長を願う伝統行事です。でも元は、今と違う行事だったのをご存知でしょうか。

ひな祭りの起源は、季節の節目や変わり目に、災難や厄から身を守り、より良い幕開けを願うための節句が始まりとされていたそうです。

また、雛人形は昔は飾るものではなく、川に流されていたと聞いたら驚きますよね？

お雛様に女の子の厄災を、身代わり引き受けてもらい、川に流していました。

江戸時代から、人形作りの技術が向上したことで、家で飾るように、変化していきました。

桃の花を飾る意味は、「魔除け」や「長寿」のパワーがあるとされて、

3 月 3 日はちょうど桃の花が咲くころだったことから、飾るようになったそうです。

節句とは、節目になる日のことで、縁起が良く、奇数が重なる日は、邪気を払うことができるかと伝わっています。知っているのと、ちょっと得した気分になりますよね！

★ちよっと豆知識★
ひな祭りの由来